

藻琴山



阿寒摩周国立公園

藻琴山登山道ガイド

千島火山帯の活動によってできた3つのカルデラ＝摩周、屈斜路、阿寒の中で、一番規模の大きいのが屈斜路カルデラ。あまり知られてはいませんが、長径約26km、短径約20kmと、九州・阿蘇に並ぶ世界最大級のカルデラなのです。その屈斜路カルデラを形成する外輪山で、登れる山として最も標高が高いのが、この藻琴山。ちょうど1000mの山頂からは、眼下に雄大な屈斜路湖を望むことができます。

8合目から出発できるので、子どもから年配者に至るまで大人気！家族で楽しむことのできる山です。

古い記録にも見られる山

文献として登場するのは、北海道の名付け親である松浦武四郎が安政5（1859）年に発行した「東西蝦夷山川地理取調図」で、「トウエトクシヘ（またはウラエウシノホリ）」と記されています。

地図表記が和名で統一される際、麓にある湖「藻琴湖」と合わせて藻琴山と呼ばれるようになりました。大正13（1924）年に地元有志によって合目が設定され、以来、多くの登山客を迎え続けている歴史のある山なのです。

※アイヌ語で「トーエトクシペ（湖の奥に立っている山）」と呼ばれていました。

スカイライン遊歩道

藻琴山には山頂へ続く2本の登山道が整備されています。

一つは「スカイライン遊歩道」。ハイランド小清水725の駐車場脇にある登山口から出発し、約1時間で登頂できるコースです。

登り始めはハイマツ帯の中ですが、次第に視界が開け、左手に屈斜路湖が望めるようになります。小ピークを越えると、屏風岩と呼ばれる大きな岩が見えてきます。初夏には屏風岩周辺にエゾノハクサンイチゲが咲き、登山の疲れを癒してくれます。岩場を越えるといよいよ頂上が見え始め、藻琴山からしか見ることのできない屈斜路湖が一望できます。

登山道（銀嶺水）

道道102号線の「藻琴山登山道入口」から農道へ入り、シカ柵を通過したのち、林道を走ると山小屋「銀嶺荘」まで行くことができます。山小屋の手前には「銀嶺水」が湧き出し、水分補給をしてから出発することができます。

ダケカンバ林を抜け、オホーツク側の景色を眺めることができます。距離は片道1.16km、所要時間約30分と、一番短いコースで、登山初心者にはお勧めです。



銀嶺水

藻琴山で見られる花（一部）

川湯ビジターセンター



開館時間

4月～10月 8:00～17:00
11月～3月 9:00～16:00

休館日

毎週水曜日（7月第3週～8月31日は無休、水曜祝日の際は翌日）
年末年始（12月29日～1月3日）
入館料 無料

088-3465

北海道川上郡弟子屈町川湯温泉2-2-6

TEL 015-483-4100

FAX 015-483-4111

URL <https://www.kawayu-eco-museum.com/>

製作 環境省



エンレイソウ
(4～6月)



ツマトリソウ
(6～7月)



コケモモ
(6～7月)



ウコンウツギ
(6～7月)



マルバシモツケ
(6～8月)



オオカメノキ
(5～6月)



チシマフウロ
(6～7月)



ミヤマオダマキ
(6～7月)



ハクサンチドリ
(6～7月)



クルマユリ
(7～8月)



チシマザクラ
(5～7月)



エゾノハクサンイチゲ
(6～7月)



キジムシロ
(6～7月)



ゴゼンタチバナ
(6～7月)



アキノキリンソウ
(8～9月)